

わが国の鉄道整備について

国土交通省鉄道局総務課企画室

わが国の鉄道は、国民の日常生活に不可欠な交通機関として、わが国とともに発展の歴史を歩み、今では世界有数の鉄道大国としての地位を築いている。これは、これまで鉄道に携わってこられた多くの方々が長年にわたり積み重ねてきた努力の賜にほかならない。今後、本格的な人口減少・少子高齢化、地球環境問題の深刻化、大規模地震への備え等、鉄道を取りまく社会環境も大きく変容していくが、鉄道局としては、安全で環境に優しい交通ネットワークの構築に引き続き取り組んでいく。本稿では、鉄道整備について、現在取り組んでいる施策の一部を紹介する。

キーワード：新幹線ネットワーク、中央新幹線、都市鉄道、空港アクセス鉄道

1. はじめに

わが国の鉄道は、明治5年の開業以来、通勤、通学等国民の日常生活に不可欠な交通機関として、わが国とともに発展の歴史を歩んできた。現在では世界有数の鉄道大国として、安全性はもとより、定時性や利便性などの輸送サービス、省エネ等の技術面で、世界最高水準を誇る鉄道ネットワークを有している。

本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来、地球環境問題の深刻化、大規模地震への備え等、わが国の鉄道を取りまく社会環境は大きく変わりつつある。鉄道局としては、こうした状況を踏まえつつ、安全で環境に優しい交通ネットワークの構築に向け、引き続き取り組んでいく。以下に現在取り組んでいる施策の一部を紹介する。

2. 新幹線ネットワーク

整備新幹線は、わが国の基幹的な高速輸送体系を形成するとともに、ビジネスや観光の交流を促進することで、地域の産業や社会の活性化等に大きな効果をもたらすことが期待される。

現在建設中の北陸新幹線（長野・金沢間）は平成26年度末、北海道新幹線（新青森・新函館（仮称）間）は平成27年度末の予定通りの完成・開業を実現するため、引き続き、着実に整備を進めていく。また、平成24年6月に認可した北海道新幹線（新函館（仮称）・札幌間）、北陸新幹線（金沢・敦賀間）および九州新幹線（武雄温泉・長崎間）の3区間についても、完成・開業に向けて、着実に整備を進めていく。

3. 中央新幹線プロジェクト

中央新幹線は、三大都市圏を結ぶ新たな高速大量輸送機関として、東海道新幹線とともにわが国の国民生活や経済社会を支える大動脈となると同時に、災害リスクに備えた

二重系化を実現するという大きな役割が期待されている。現在、東京都・名古屋市間において、JR東海による環境影響評価の手続が行われているが、引き続き、JR東海と沿線地域との間で十分な調整がなされること等により、今後も事業の適切な進捗が図られるよう努めていく。

4. 都市鉄道の整備・推進

都市鉄道については、都市の基盤インフラとして重要な機能を担っており、従来から、地下高速鉄道の新線建設、貨物線の旅客線化等により、混雑緩和や所要時間の短縮などの機能の向上を図ってきた。

地下高速鉄道については、引き続き、仙台市東西線の整備を推進し、仙台都市圏の南北軸となる地下鉄南北線等と結節することにより、仙台市内の東西南北における拠点間の連携を高め、都市機能の充実等を図っていく。また、福岡市七隈線の延伸整備を推進し、福岡市の都心部における回遊性の向上や慢性的な交通渋滞の解消等を図っていく。

さらに、既存ストックの有効活用による速達性の向上を実現するため、引き続き、都市鉄道利便増進事業を活用した相鉄・JR直通線および相鉄・東急直通線の整備を推進し、横浜市以西から東京都心まで、より短い所要時間かつ乗換え無しによるアクセスの実現に取り組んでいく。

5. 空港アクセス鉄道の整備強化

近年、アジアを中心とした諸外国の都市が急成長するなか、空港アクセス鉄道の整備・強化は、航空旅客の利便性向上のみならず、わが国における都市の国際競争力を強化することにより、グローバル企業の誘致を促進し、経済の活性化を図るためにきわめて重要な取組みである。

このため、都心と首都圏空港とのアクセスの改善に向けて、既設の鉄道の活用や都心部における大深度地下の活用などによる都心直結線の整備に向けた検討を進めていく。

【2013年12月27日受付】